

<大平地域>

■ 大中寺の七不思議

① 根なしの藤



本堂左手の小道をやや奥に入ったところにある、歴代住職の墓地に生えている異様な枝ぶりの藤の老木の事。大中寺を再興



した快庵妙慶禅師が人食いの鬼坊主を濟度して、その遺骸をとむらったおり、墓じるしとして愛用の藤の杖を突き刺しておいたのが根づいたものだという。

上田秋成の「青頭巾」は、この伝説をもとに書かれた作品である。